

任意団体 虹別コロカムイの会

# 河畔林造成とシマフクロウ繁殖、 その生態系サービスの評価

イベントの 延べ参加者数	550人
活動に対する問 合せ件数	100件
活動の全体目標 に対する達成度	90%



実施後（7月）手前は食害防止電気柵

## ◆成果と工夫したポイント

### ●成果

約250名が参加し、約3,000本の苗木を植樹。5月に開催したフォーラムに約80名が参加。2～3月にかけて実施したセミナーには約100名が参加。バイカモ保護網を2か所設置。約15名にインタビュー。

### ●工夫

植樹、フォーラム、セミナー、バイカモ研究会など年間を通して行事を設定し、活動の周知に努めた。

## 課題

シマフクロウ生息域である北海道・西別川流域において、河畔林造林、バイカモ保護活動を実施し、シマフクロウの増殖をはかる。また、生態系サービス機能を明らかにする。

## 目標

シマフクロウが自然共生の地域社会のランドデザインを描く可能性を、具体的に提示する。農林漁業が生態系サービスの恵みを享有して、環境との共生、地域社会の魅力が創造される状況を想定している。

## 活動内容

標茶町内にて植樹活動を実施。普及啓発活動の一環として別海町にてフォーラムを開催。植樹地域において下草刈りを行い、エゾ鹿による食害を防ぐため電気柵を設置し、河川の清掃などを定期的にメンテナンス。ふか場となる巣箱、エサ場となる養魚場の定期管理。西別川流域にバイカモ保護網を設置し、継続して定期観察。シマフクロウの生態を観察、有識者にインタビューを実施して「生態系サービス」に寄与する基礎資料を記録。



植樹祭実施前の  
河畔林用地（5月）

## 達成できなかったこと

ツーリズムとの連携、また、従事者へのインタビューを実施予定だったが、シマフクロウ保護の観点から、もう少し議論を深めてから実施することになったため、達成できなかった。

## 今後の展望

「西別川の全域にシマフクロウの声が聞こえるようにしたい」という夢の実現を、住民自身の参加により実現。